

一般財団法人

住友病院

# Sound

vol.48

SPRING  
2020.April/May/June

住友病院だより【さうんど】

特集

## 緩和ケアって何？ ～住友病院の緩和ケア～

- 就任のご挨拶 / 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療部長 笹井久徳
- 季節のヘルシーレシピ / ふきご飯
- 連携医療機関 / 医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック  
医療法人よこいクリニック

ご自由にお持ち帰りください

Illustration:Yousuke Asakura

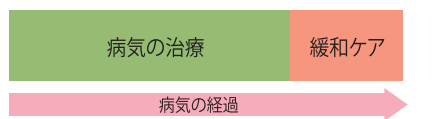
緩和ケアの体制強化の一環として昨年10月に新設された緩和ケア診療部。  
当診療部専従の今村拓也医師に住友病院の緩和ケアについてお話をうかがいました。

緩和ケアとは？

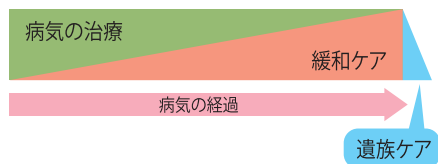
2002年にWHO(世界保健機関)は緩和ケアについて「生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOL(生活の質)を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチ」と定義しています。その中で日本では長年「がん患者の方の終末期をどう支えるか」という捉え方をされてきました。

しかし、現在、その対象は拡がりを見せており、がんに限らず「治らなければ命に関わる」という病気全般に罹っておられる方、例えば心不全やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の方などへの関わりが求められるようになってきました。そして終末期だけでなく、早い段階から緩和ケアを行うようになっており、厚生労働省では、特にがん患者さまには診断された段階からのケアを推進しています。

従来までの考え方



最近の考え方



自体が複雑になってきていることが背景にあると考えられます。高度成長期頃の日本における治療は、病気を治して社会復帰することが目標でしたが、最近では寿命が延び、価値観も多様化しています。完全に治癒しての社会復帰が難しいことが判明すると、いろいろな局面が変わってきます。自分自身がどのように生きていくかに焦点が当たることになります。それに寄り添うのが緩和ケアだと考えます。そういう時代の変化があったのだと思います。

また、似たような言葉で「ホスピスケア」「ターミナルケア(終末期ケア)」というものがあります。これはどちらも治療の効果が望めない状態の患者さまに対するケアとして使われることが多いのですが、治療中から並行して行われる「緩和ケア」の二つの要素といえます。

緩和ケアに携わる職種



医師

症状緩和のために治療します。精神症状は、精神科医師や臨床心理士が対応します。

看護師

緩和ケアに関する専門的な知識や技能を持つ専門・認定看護師などが支援します。



薬剤師

痛みなどの症状を和らげるための薬についての助言や指導を行います。

医療ソーシャルワーカー

生活面や医療費など経済面での問題についてご相談を受けたり、社会的サービスや在宅医療を受けるための支援を行います。



患者さまとご家族

管理栄養士

食事の献立や味付けの工夫などの助言を通じて、食生活に関わる問題に対応します。



リハビリ専門職

身体の機能を最大限に活用し、安全に生活できるようにするためのリハビリテーションを担当します。

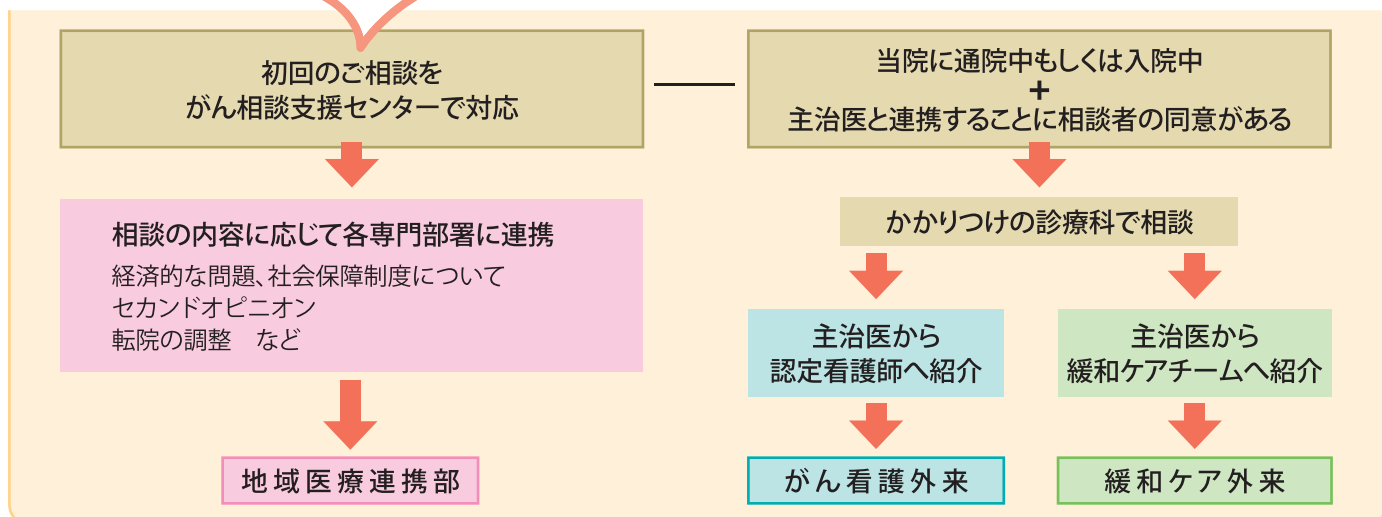


かんわ 緩和ケアって何？

住友病院の緩和ケア

# こんな悩みに対応する窓口はここ!

※がん相談支援センターは匿名での相談が可能です。



## 緩和ケア外来

重い病を抱える患者さまとそのご家族は、病気と診断された時や治療の経過の中で様々な場面でつらさを感じると思います。現在ではがんだけでなく、心不全や慢性呼吸器疾患などの患者さまへの緩和ケアも必要であるといわれています。

からだの痛みや息苦しさなど身体的・心理的なつらさ、仕事や家庭の中で役割が果たせないことや経済的な問題などの社会的なつらさ、人生の意味・目的の喪失、希望の無さなどの実在的なつらさ（スピリチュアルペイン）など複雑に影響し合っている「痛み」としてあらわれます。これを「全人的苦痛」といいます。緩和ケアはこれらの苦痛を予防し、和らげることでQOLを改善するアプローチです。

当院ではどの医師・看護師でも基本的な緩和ケアを提供できる体制を整えています。しかし、強い痛みやその他の症状などなかなか改善されない場合もあります。その際に主治医・看護師と協働して緩和ケアチームも一緒に支援をいたします。

入院中だけでなく、退院後も切れ目なく緩和ケアを受けていただけるように緩和ケア外来を開設しています。相談内容として、

- ・がんや心不全などによる身体の痛みや息苦しさがある
- ・身体のだるさなどの苦痛な症状がある
- ・吐き気や便秘、下痢などの症状がある
- ・精神的なつらさがある
- ・療養場所の相談

患者さまやご家族に寄り添い、苦悩を和らげていけるよう支えていくことを何より大切にしています。緩和ケア外来の受診を希望される際は主治医・外来看護師へお申し出ください。

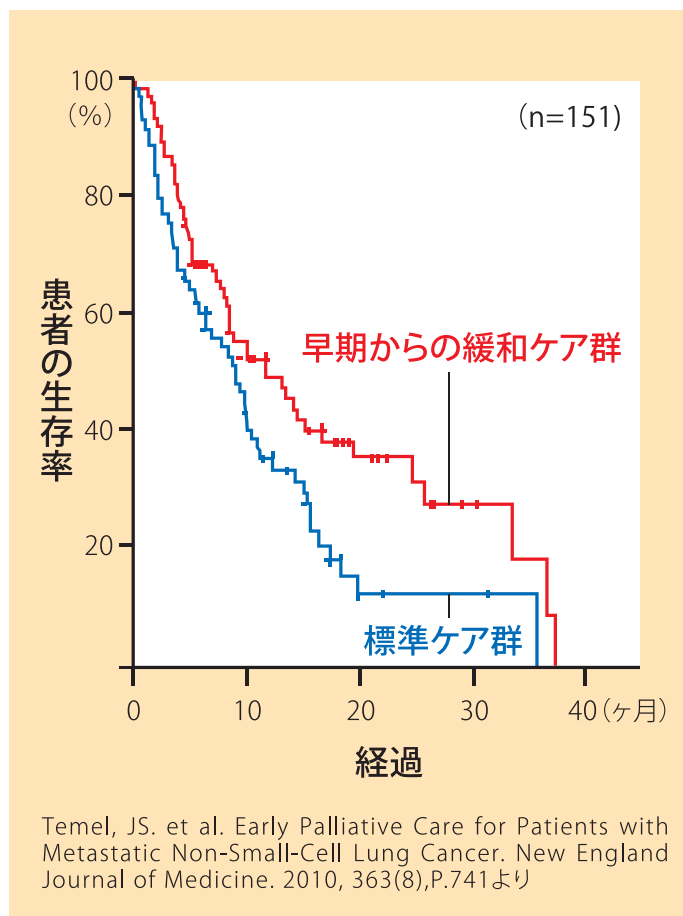
**担当者** 今村拓也(緩和ケア専従医師) 上田聖子(がん性疼痛看護認定看護師) 木田久美子(緩和ケア認定看護師)  
**診療** 月～金曜日(木曜日除く) 13:00～15:00 **予約** 完全予約制 **場所** 外来2階 泌尿器科診察室

## 緩和ケア診療部を設立しました

早い段階から緩和ケアを行うことで、生活の質を上げるばかりでなく生存期間の延長も期待できるといわれています。2010(平成22)年にアメリカのハーバード大学などのグループが著名な医学雑誌『New England Journal of Medicine』に発表した論文では「早期から緩和ケアを受けた患者は、生活の質が改善されることはもちろんのこと、生存期

## どのような診療方法?

当診療部では、まず患者さまの痛みやその他苦痛の症状を取り除く、または和らげることを考えます。これらの技術は昔に比べてかなり進歩し、より効果的に治療できるように



なっています。薬剤治療、放射線治療、ブロック注射、場合によっては痛みを取るための手術も含め、総合的に判断します。そして現在受けている治療が「何のためにどのようなことをしているのか」を理解してもらい、今後どのような生活を送りたいのか、それに合わせてどのような治療をどこまで受けるのかを決める支援をすることを目標としています。

そのため当診療部では、幾度もの研修や経験を経て、患者さまにご自分でお話しいただき、その思いをしっかり聞き出すことを高めてきました。患者さま自身に今置かれている状況や今後の目標を認識いただくことで、一緒に歩んでいくことができるところです。

またご家族の方々に対しても、患者さまがご自宅での生活に過ごされているのか、患者さまとの生活の中

間までもが延びる」可能性が示されました。

このような事から、当院では緩和ケア医療の充実を図るべく昨年10月に組織再編を行い、緩和ケア診療部を設立しました。



緩和ケア診療部 医長  
 日本内科学会総合内科専門医  
 日本緩和医療学会緩和医療認定医  
**今村 拓也**  
 Takuya Imamura

でどのようなことに困っておられるかについてもおうかがいし、問題は何か、それに対してどうしていくのかを一緒に考えていきます。もし、経済的な問題がある場合は、利用できる社会福祉サービスもお伝えして問題解決のサポートをまいります。

緩和ケアについて気になる方がいらっしゃいましたら、主治医や看護師へご相談ください。がんは罹患されている患者さまは、他にも専門の相談窓口がございます(詳細後頁参照)ので、ご利用ください。

がん相談支援センター

住友病院は、制度開始初年度である2009(平成21)年4月に「大阪府がん診療拠点病院」に指定され、現在に至っております。

「大阪府がん診療拠点病院」には、「がん相談支援センター」の設置が義務付けられており、当院も1階(防災センター横)に設けています。当院の「がん相談支援センター」では専門の相談員が、がんに関する様々な相談を受け、問題解決に向けた支援を行っています。

相談内容としては、がんの治療・検査・副作用について、療養生活上のこと、治療と仕事の両立について、終末期療養、また、ご家族として患者さまをどのように支えればよいかなど、幅広く対応しています。

当院で治療中のがん患者さまご自身だけでなく、ご家族、勤務先関係者や、地域住民の方など、がんに関連した相談がある方はどなたでもご利用いただけます。

相談は、対面相談と電話相談の2種類です。対面相談については、事前に予約していただくとスムーズに

対応できます。どうぞお気軽にご相談ください。



他の相談窓口

**電話** 06-6443-1261(代表)  
※「がん相談です」とお伝えください。

**受付時間** 月～金曜日  
9:00～15:00

**受付** 1階総合案内

**場所** がん相談支援センター  
(防災センター横)

**料金** 無料

がん看護外来

がん看護外来は、専門的な知識や技術を持った専門看護師・認定看護

師が、患者さまやご家族の健康管理やご病気に関する助言・相談相手となり、在宅で安心して過ごせるように支援することを目的としています。がんと診断された患者さまのご家族は、身体のこと、心のこと、仕事のことなど様々な悩みと遭遇します。例えば、

- ・ 悪い知らせを聞いた後の気持ちのつらさ
- ・ 治療変更に伴う不安
- ・ 治療の副作用に関すること
- ・ 身体の痛みをはじめ苦痛な症状がある
- ・ 漠然とした不安がある
- ・ 治療を続けていくことが難しくなった



出せることを目指しています。がん看護外来の受診を希望される際は主治医またはがん相談支援センターへお申し出ください。

がん看護外来では、このような悩みに対して解決の糸口を一緒に見つけていくことができるように面談を行っています。患者さまの身体だけでなく、心のつらさや社会的な背景などをふまえて支援をさせていただきます。患者さまとご家族の大切にしている価値観や人生を理解したうえで治療の選択ができるように、また、安心して療養生活が送れるように主治医、関係部署と連携して、患者さまとご家族が持つ力を最大限に引き

**担当者** 上田聖子 (がん性疼痛看護認定看護師)  
木田久美子 (緩和ケア認定看護師)

**時間** 月・金曜日 9:30～15:30

**予約** 完全予約制 1人あたり30～60分

**料金** 保険診療  
※3割負担の場合は約600円/回



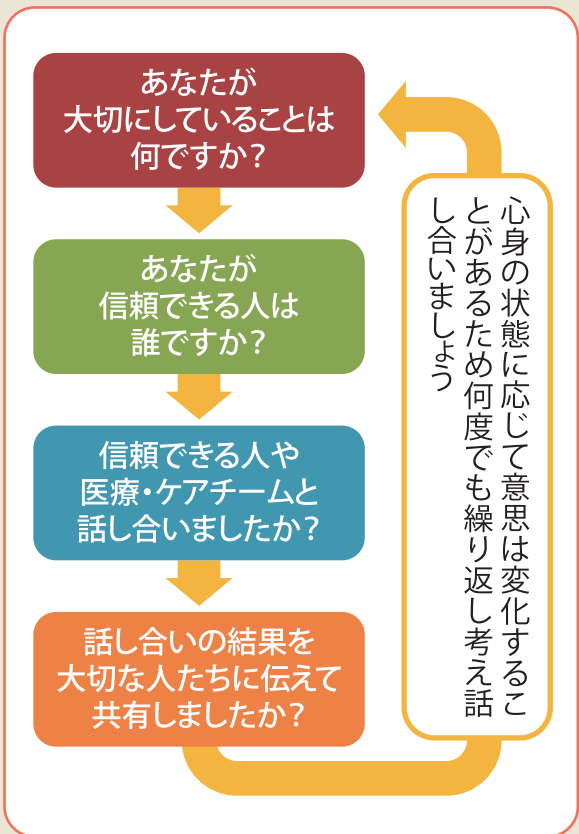
人生会議 (アドバンス・ケア・プランニング) について

アドバンス・ケア・プランニング(略してACP)は、日本で「人生会議」と愛称がつけられました。

誰でも自分らしい最期を迎えたいと思われるでしょう。しかし、最期の迎え方は事前に決まっているわけではなく人それぞれです。そのため「自らが希望する医療やケアについて事前に考えておく」ことが重要であり、患者さまが大切にしていることや、どのような医療やケアを望んでいるかについて自ら考え、信頼する人々と話し合うことが必要だと考えています。それがACP＝人生会議です。

例えば心肺停止で意識のない状態になってしまったら、その思いを患者さまご本人から聞くことはできません。厚生労働省によれば「命の危険が迫った状態になると約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなる」といわれています。結果としてご家族な

話し合いの進め方(例)



厚生労働省パンフレットより

ど患者さまの信頼できる人たちが「本人だったらたぶんこう考えるだろう」と想像しながら、医療やケアについて話し合っていくこととなります。

そのため、患者さま自身のよううに思い、その思いをどのような形で遺し、誰を信頼して託しておくかを考えることが重要なのです。心身の状態によって意思が変化することがありますから、何度でも繰り返し考えて話し合うことが必要だ

と思います。

私ども緩和ケアチームでも、終末期の患者さまにはこの人生会議を意識しながらコミュニケーションを取らせていただいています。

基本的には病気になった方が対象ではありますが、誰でも最期を迎える時が訪れるのは揺るぎない事実です。健康なうちから人生会議を行っておくことで、より豊かな人生を送るための目標を定めることができると思っています。

参照 厚生労働省ホームページ [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)

人生会議について

リハビリテーション科「がんのリハビリテーション」

緩和ケアチーム 理学療法士

療養におけるリハビリテーション（以下、リハビリ）は、患者さまの回復力を高め、残っている能力を維持・向上させ、今までのと変わらない生活を取り戻すよう支援することによって、患者さまのQOLを大切に考える考え方に基づいて行っています。

がんの治療を行っていく際に、筋力や体力が低下し、日常生活動作に支障をきたすことがあります。従来からリハビリは身体機能の「回復」を目的に行っていました。しかし、現在では身体機能が低下する可能性のある治療を行う際には、入院した直後から身体機能の「維持」を目的として予防的にリハビリを行うようになってきています。このような考え方をもとに近年確立されてきたのが「がんのリハビリ」であり、リハビリ分野の中では比較的新しく特異的な分野ともいえます。



身体機能の低下以外に、がんそのものによる痛み、息苦しさ、だるさによって寝ていることが多くなることもあります。このような状態になると、仕事や家事、学業への復帰が難しくなります。また、退院して家で過ごすこと、病院での療養を望まれる方など希望はそれぞれです。患者さまやご家族の価値観によりリハビリの目標も異なってきます。目標を早期に決めること、状況に合わせて目標を見直すことが療養を行っていくうえで重要な要素であり、これまで通りの生活をできるだけ維持し、自分らしく過ごすことは可能だと考えます。そのため、欠かせない「がんのリハビリ」です。

リハビリ科が緩和ケアチームに加わり、介入時から多職種で目標設定を検討することで、患者さまにとって最適なりハビリを提供できていると思っています。

当院ではがんリハビリテーション研修を修了した理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が主治医や看護師など他職種と協力しながら治療に当たっており、患者さまそれぞれが自分らしく生きることへの力になれることを期待しながら業務に当たっています。

放射線治療は、手術、化学療法と合わせて「がん治療の三本柱」の一つと位置付けられている治療法です。がん細胞に強力な放射線を当てることで治療していきますが、正常な細胞に副作用が起らないよう、一日1回、少しずつ毎日続けるのが特徴です。

治療の回数はがんの種類、治療する部位、目的などによって様々で、少ない場合は数回程度、多い場合は30回以上になることもあります。放射線は目に見えませんが、身体に浴びても何も感じませんし、治療中は検査を受けるときと同じようにじっと寝ているだけです。1回の治療は15分程度です。通院で治療を受けている患者さまも多いです。放射線が強く当たっている部位には副作用が出る場合がありますが、ほとんどの場合は一時的な症状ですので、治療が終わってしばらくすれば治ります。放射線が当たっていない部位には副作用は起こりません。

緩和ケアにおいても放射線治療は重要な役割を持っています。がんによつて引き起こされる様々な症状、特に骨転移による痛みには放射線治療が有効であることが多く、苦痛を和らげることで患者さまがより充

緩和ケアチーム 放射線科医

放射線治療科「痛みを緩和する放射線治療」



# 痛みの緩和

麻酔科は当院の緩和ケアチーム発足時よりチームの一員として、手術麻酔やペインクリニックの経験を活かして、患者さまの疼痛緩和のための治療に関わっています。

近年は、オピオイド、鎮痛補助薬などの疼痛緩和に関わる薬剤やその投与経路の選択肢が増えており、薬剤による疼痛コントロールが以前と比べて良好になってきています。これらの薬剤調整などで疼痛コントロールがうまくいかない際は、神経ブロックを行うことで、痛みの軽減や生活の質向上が得られることがあります。

神経ブロックとは、脊髄から出てくる神経やその周辺に向かってブロック針を刺入し、直接またはその近くに局所麻酔薬やアルコールなどを注入して、神経の伝達機能を一時的または半永久的に遮断する方法です。当科では局所麻酔薬による神経ブロック（硬膜外ブロック・肋間神経ブロック・トリガーポイント注射など）、神経破壊薬による内臓神経ブロックなどをこれまで施行しています。ブロックの内

容によつては外科系医師や手術室の協力を得て、安全な神経ブロックを施行できるように努めています。

患者さまの体調や施行する時期が重要になります。痛みの原因や部位によつて適応となる神経ブロックが違います。緩和ケアチームで検討したうえで、神経ブロックの適応があり、かつその時期であると考えられる場合には、患者さまやご家族にその効果、副作用、合併症などについて説明を行っています。苦痛の緩和において薬剤や神経ブロックは重要な方法です。患者さまご本人にとつてより良い鎮痛方法を共に考えて見つけ出していきたいと考えています。

管理栄養士は治療により食欲低下した患者さまが少しでも食事が食べられるように食事の内容や種類を検討、提案する役割を担っています。緩和ケアの中で栄養士においては、がん治療をしようとしている患者さまに対して、より治療が効果的になるように栄養状態を良くすることが大切だと思っています。お部屋訪問をして話を聞くことでその方の好みや食事に對する気持ちを知ることが心がけています。そしてたくさんある食事の種類の中から希望に近い食事を提案しています。

例えば、提案させていただくことが多い食事は「ミニ常食」です。当院の常食（普通食）は選択メニュー制で毎食2種類から選ぶことができますが、量が多くて食べられない方のためにおかずの量を半分程度に減らし、昼食に少量でエネルギーや栄養がとれる栄養補助食品をつけた食事です。基本食は飲み物ですが、苦手な方にはゼリーや嗜好に合わせた製品への変更を行っています。また、必要な栄養を摂取するという

ことに加えて、「食べることに楽しみや喜びという視点で考えることも大切だと思います。」

栄養士が加わっているチーム（緩和ケア、栄養サポート、認知症ケア、褥瘡対策）が関わっている患者さまで食欲が低下している方を対象に昨年12月より「常食J」（※）を開始しました。病院食は食べられないが味が濃い物なら食べられる、大阪ならではの味というご意見をもとに7種類を用意していますのでご希望の方は主治医または担当看護師へご相談ください。



※実際の7種類のメニューです（提供量は異なります）。

※常食Jとは…  
食事を楽しんでいただきたいという思いから「Joyful（楽しみ）」の頭文字をとった当院独自の名称です。

麻酔科「疼痛緩和」

緩和ケアチーム 麻酔科医



## 連携医療機関のご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携先としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

主に訪問診療をされている大阪北ホームケアクリニック。患者さまはもちろんご家族のケアも大切にされているようです。白山宏人院長にお話をうかがいました。

### ▶在宅医療に注力しようと思われたきっかけは何でしょうか。

勤務医時代に在宅医療に関わる機会があり、患者さまの生活を意識した個別的な医療、ご家族と自宅で過ごしている時の笑顔など、病院とはまた違った医療の関わりに興味を持つようになりました。また、私の専門は呼吸器内科なのですが、関わる患者さまは在宅酸素を要する方等、家での医療処置がある方も多く、またがん患者さまの在宅療養支援など、生活の中の医療を意識する関わりが多かったこともきっかけのひとつです。

### ▶診療においてご家族にも配慮されているそうですね。

在宅医療は患者さまだけでなくご家族との関わりも大切です。訪問診療を開始する前には主にご家族と1～2時間程度、医師と看護師の2人で今後の療養について話し合っています。これからの過ごし方や心構え、療養の希望、不安や不明なことなどが主な話し合いの内容です。そこからご本人もご家族もこれからを少しでも安心して過ごせる体制を多職種で支援できるようにしています。そのような関わりの中で、最期まで自宅で過ごしたいと希望される方もたくさんおられる状況です。

### ▶最後にメッセージを。

地域全体でより良い在宅医療が提供できるよう、その一助になることができれば幸いです。患者さまとご家族との対話を大切にし、自宅で穏やかに過ごしていただくことが私たちの務めだと考えています。

## 医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック

理事長 藤田 拓司 Takuji Fujita

診療科目：内科、呼吸器科

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-8-24 新大阪第3ドビル3F  
TEL. 06-6350-0118 <http://www.healthcarenet.jp/okhc/>



院長 白山宏人 Hiroto Shirayama

### 【アクセス】

Osaka Metro御堂筋線  
JR東海道本線  
「新大阪」駅から徒歩圏内



## 医療法人よこいクリニック

診療科目：内科、麻酔科

〒553-0004 大阪市福島区玉川4-10-4 ラフィーネSUNi 1F  
TEL. 06-6445-1125



院長 横井秀保 Hideyasu Yokoi

### 【アクセス】

Osaka Metro千日前線「玉川」駅、  
JR大阪環状線「野田」駅、  
各駅から徒歩圏内



機能強化型在宅療養支援診療所勤務を経て、1998(平成10)年在宅医療に特化した医療法人よこいクリニックを開院。横井秀保院長にお話をうかがいました。

### ▶なぜ在宅医療に特化されたのでしょうか。

以前の勤務経験等から自宅を訪問して初めて、病気だけでなく患者さまが抱えている背景などさまざまなことに気づきました。そして人としての本質に関わっているということに改めて感じ、在宅医療に注力したいと考えたからです。

### ▶診療で心がけていらっしゃることは。

「患者さまのご家族のライフスタイルを変えない」ように心がけています。24時間対応していますが、24時間患者さまを支えているのはご家族です。常に患者さまとご家族の意向やお気持ちを優先し、お互いが納得できる方法で診療していくことを大切に考え、普段の日常に少しでもお邪魔させていただくというイメージで、さりげなく、より良いことをご提案できるよう努めています。

### ▶診療依頼を断ったことがないとおうかがいしました。

専門外の小児科は診療していませんが、それ以外は今まで一度もお断りしたことがありません。依頼されればそれが自分の使命だと考え、全力で取り組んできました。医療の受け方も人によってさまざま。在宅での医療が必要であれば、患者さまやご家族の意志を尊重しながら、これからも取り組みたいと考えています。

医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

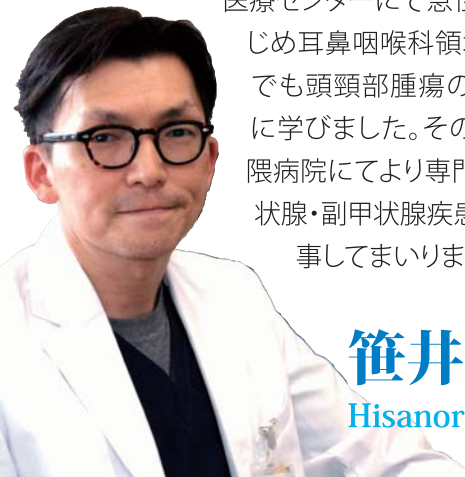
住友病院 地域医療連携部 TEL. 06-6447-3031(直通) FAX. 06-6447-3052  
受付時間/平日 8:30~19:00

## 就任のご挨拶

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療部長

昨年7月より耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療部長に就任いたしました。歴史ある住友病院の科長の重責を与えていただいたことは光栄であるとともに身の引き締まる思いです。

私は2000(平成12)年に大阪大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科医局に入局し、大阪府立急性期総合医療センター・関西労災病院・国立病院機構大阪医療センターにて急性期疾患をはじめ耳鼻咽喉科領域全般、なかでも頭頸部腫瘍の治療を中心に学びました。その後は神戸の隈病院にてより専門性の高い甲状腺・副甲状腺疾患の治療に従事してまいりました。



笹井 久徳  
Hisanori Sasai

甲状腺手術においては声帯の動きを支配する神経(反回神経)をはじめ、その他にも非常に繊細な神経を取り扱います。当住友病院手術室にはそういった大切な神経の術中の損傷を避けるための神経刺激装置が既に導入されており、神経損傷の可能性が高い症例をはじめとして幅広い甲状腺疾患の治療に十分対応することができます。また様々な外科手術用のエネルギーデバイスなどの器具も充実しており、より高度で質の高い外科治療を患者さまに提供できる環境が整っております。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科で扱う疾患は中耳炎・副鼻腔炎を中心とした炎症性疾患、アレルギー(花粉症など)、神経疾患(顔面神経麻痺・めまいなど)、感覚器疾患(難聴・嗅覚障害・味覚障害など)、頭頸部腫瘍と非常に多岐にわたり、なにぶん扱う疾患の範囲が大きいですが、当科独自の専門性をしっかりと出すことで差別化を図り、地域医療に貢献できることを目標にスタッフ一同努力していく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

From 栄養管理科 Healthy Recipe

## 季節のヘルシーレシピ

MENU

ふきご飯



栄養管理科 管理栄養士 池田 恵子

今回は病院内でも提供している人気メニュー。  
ふきの香りと食感を楽しめる春ならではの一品。

ふきは3月から5月頃に旬を迎える、数少ない日本原産の野菜のひとつです。96%が水分なので100g 11kcalととても低カロリー。高血圧に効果的なカリウムや食物繊維を含む食品になります。

しかし、ふきは鮮度が大切です。収穫後時間とともにアクが強くなるので、なるべく早く下処理(工程①②)を行い、水に浸してタッパなどに入れて冷蔵庫に入れておけば、水を時々交換することで1週間ほどは美味しく食べることができます。

### 作り方

- ① ふきは茎の部分を、下茹でをする鍋またはフライパンに入りきる長さに合わせてカットし、まな板に並べ、塩大さじ1を振り、板ずりする。
- ② 下茹での湯が沸騰したら、①を塩がついたまま入れ3～5分茹で、冷水にとる。ふきは端から1周ぐりと縦方向に一気に皮を剥く。
- ③ ②を小口切りにし、加熱後のA(薄めのすまし汁程度のだし汁)に浸しておく。
- ④ 洗米2合をだし汁で浸水(通常同様の水分量)し、濃口しょうゆ6ccを入れ、炊く。
- ⑤ ご飯が炊きあがったら、汁を切った③とちりめんを加えて混ぜ合わせ完成です。



### 材料 / 4人前

ふき…120g(約半束) ちりめん…20g  
米…2合 濃口しょうゆ…6cc だし汁(米浸水用)

〈板ずり用〉 塩…大1

〈A: 浸し用だし汁(薄めのすまし汁程度)〉

だし汁…200cc 薄口しょうゆ…3cc 塩…少々

### 栄養価 / 1人前

カロリー…290kcal 炭水化物…59.3g 食塩相当量…0.6g

## 新型コロナウイルス対応に関するご理解、ご協力のお願い

新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、当院では徹底した感染管理対応を行いながら診療を継続しております。患者さまならびに関係者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

### 1. 以下の方はご来院時に総合案内へお申し出ください。

- 発熱やかぜ症状のある方
  - 解熱剤を内服しておられる方
  - 2週間以内に海外渡航歴のある方
- 入館時の体温測定にご協力ください**

### 2. 入院患者さまへの面会制限について

ご面会をご家族さまに限りませ。入院患者さまを通じて病棟で許可を受けてからご来院ください。なお、不要・不急のご来院は、ご遠慮ください。

- 許可された場合は1名のみでお願いいたします。
- ご面会の際はマスクの着用と手指衛生をお願いいたします。

### 3. 各種イベントなどの中止または延期について

2020年度の市民公開セミナー、各種教室やイベントについては、現在開催を協議中です。中止、再開については随時、ホームページまたは院内掲示などで改めて告知させていただきます。

### 2020年 ゴールデンウィークの診療体制

5/2(土)～5/6(水)は通常診療は休診となります。  
なお、急患の方、入院中の方は同期間中当直医が対応いたします。

金	土	日	月	火	水	木
5/1	5/2	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	5/6 振替休日	5/7
通常診療	急患のみ					通常診療

### 健康経営優良法人「ホワイト500」に認定されました。

昨年に引き続き、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。ホワイト500は、従業員の健康に十分配慮した経営(健康経営)を行う優良企業や法人を経済産業省が認定する制度です。これからも職員の健康保持・増進に向けた取り組みを積極的に行い、より良い医療を通じて社会の皆さまに貢献できるよう努めてまいります。



〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-20 TEL.06-6443-1261(代表)  
【受付時間】 8:30～11:30、12:30～15:00

“Sound”には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。  
住友病院だより「Sound」 ◎発行人:金倉 謙 ◎編集:柄尾 雅彦、西野 秀、増田 亮、峯 梓  
※広報誌「Sound」に関するご意見などは、企画室までご連絡ください。住友病院だより【Sound vol.48】 2020年4月1日発行



住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。

**住友病院**

住友病院

検索